

事例報告

「A-PEETシート 製造で認知される、進栄化成（大阪府八尾市、☎072・998・1167）は高品質製品の提供に徹底した取り組みを進めている。製造現場では作業効率の追求に余念がない。洗浄作業には力を注いでおり、特に昨年導入した洗浄システムが効果を発揮し、生産性が向上し作業負担の軽減につながった（PEET製造部・岩崎達也部長）と評価している。安定した製品作りで信頼を集める同社にスポットを当てた。



製造部・岩崎部長

「カネロン」ブランドのA-PEETシート製造で着実に出荷実績を伸ばす同社。1947年（昭和23年）の創業以来、時代ニーズに応えプラスチック分野一筋に事業を推進。現在は硬質塩化ビニールおよびPEETシートメーカーとして取引先の信頼も厚い。同社が提供する

新型洗浄機導入で効率化

生産性向上し作業負担を軽減

進栄化成



SOBIJET 125W  
（進栄化成導入機と同型、  
日本ジョイント提供）

A-PEETシートは、4台の製造装置を稼働させ、フルーツ・野菜用などの食品容器や、プラスチック、カット板分野など幅広い用途で需要を獲得。食品容器とブリストアパック用途は旺盛・

堅調な業界ニーズを捉え出荷量も拡大。また「VRVシート」はパージンに近いイグレートの高さが評価され、野菜用容器やイチゴなどフルーツケース、サラダ容器、デザート容器などに採用が増大している。そうした高品質製品を提供し続けるのが同社のPEET製造部。岩崎製造部長が

環境保全に配慮しミス・ロスのない安心・安全な生産体制を構築している。同社が昨年7月に設置、稼働させたのが圧縮空気、水、メルトロン（重曹）を使用した洗浄システム（SOBIJET洗浄機で、日本ジョイントが納入）。メルトンと呼ばれる細やかな重炭酸ナトリウムの結晶（重曹）を、ノズルから洗浄対象物に直接、吹き付けて付着している物質を機械的および化学的作用で剥離する。

主な洗浄の対象は、押出機のポリマ配管、フィードプロック部分で、新型の洗浄システムの導入により生産量向上など効果はすぐに表れた。導入前は機械停止時に銅棒や銅ペラを使用し手作業で洗浄を行い、清掃に要する時間は4人体制で丸一日、つまり96時間の工程が必要だった。

それが「SOBIJET洗浄機」導入後の現在、3人体制で6時間、つまり18時間作業へと大幅に軽減。設備停止は、以前は押出機1台につき4日間が必要だった。現在は1台当たり2日間となり、4台分を勘案すれば稼働日にして8日間増加。年間2回の定期洗浄作業を考えれば、実に16日間もの稼働日増加につながったという。

隅々まで製造現場の環境保全に配慮しミス・ロスのない安心・安全な生産体制を構築している。

同社が昨年7月に設置、稼働させたのが圧縮空気、水、メルトロン（重曹）を使用した洗浄システム（SOBIJET洗浄機で、日本ジョイントが納入）。メルトンと呼ばれる細やかな重炭酸ナトリウムの結晶（重曹）を、ノズルから洗浄対象物に直接、吹き付けて付着している物質を機械的および化学的作用で剥離する。

主な洗浄の対象は、押出機のポリマ配管、フィードプロック部分で、新型の洗浄システムの導入により生産量向上など効果はすぐに表れた。導入前は機械停止時に銅棒や銅ペラを使用し手作業で洗浄を行い、清掃に要する時間は4人体制で丸一日、つまり96時間の工程が必要だった。

それが「SOBIJET洗浄機」導入後の現在、3人体制で6時間、つまり18時間作業へと大幅に軽減。設備停止は、以前は押出機1台につき4日間が必要だった。現在は1台当たり2日間となり、4台分を勘案すれば稼働日にして8日間増加。年間2回の定期洗浄作業を考えれば、実に16日間もの稼働日増加につながったという。

数値以外の導入メリットを挙げれば、複雑な形状部分も外観美麗な仕上がりとなり、対象物に傷を付ける可能性は限りなくゼロ。岩崎部長は、「何より作業者の負担を大幅に軽減することができた」ことを最大に評価している。同社では今後も高品質製品の提供に力を注いでいく考えだ。

なお、納入元の日本ジョイントでは、「SOBIJET洗浄機はポリマ配管やフィードプロックの洗浄のみならず、スクリーやその他構成部品の洗浄にも効果を発揮する」としている。